

令和2年度 教員リワーク支援プログラム・職場復帰支援プログラム※ のご案内

※ 自治体によって名称が異なります。

公立学校共済組合 近畿中央病院
メンタルヘルスケアセンター 担当スタッフ

- ◆ スムーズな復帰と再休職防止を目指し、自分らしさや自信を取り戻すきっかけにいただけるようなプログラムを設定しています。必要に応じて、学校との復職に関する環境調整についても一緒に取り組みます。
 - ◆ 「人として元気になってもらおう」をモットーに、グループカウンセリングや模擬授業、ストレスコントロールに役立つグループワークなどを行って、あと一歩で復帰できそうな教員の方々のサポートをしています。
- ※ 兵庫県・大阪府・神戸市・堺市・京都府などの教育委員会からの委託事業として実施していますが、復帰のためのサポートを目的としており、復帰可能かどうかを判定するものではありません。
また、プログラムの中でお話しいただく内容についても、プライバシーは守られます。

プログラム内容

- ・当院での事前面談後、決定した10名程度の固定メンバーで行います(1期、約3ヶ月間)。
- ・週2回(9:30~15:30)近畿中央病院で行います。

- 大阪府中心グループ(第1期:8月初旬~10月下旬/第2期:11月中旬~2月中旬) [毎週月・木曜日]
- 兵庫県中心グループ(10月初旬~12月下旬) [毎週火・金曜日]

※今年度兵庫県は第1期のみ実施いたします。

- ・原則として、1教員につき1回のみ参加可能です。
- ・参加費用は原則として不要です。公立学校共済組合の助成により、ご自宅から当院までの交通費の9割が支給されます(支給には条件があります)。 飲食費、プログラム外の個人的な診療費は自己負担です。

① 集団精神療法

心の中を広く深く見つめ、語り合う時間です。気持ちや体験を語り、仲間と交流する中で、孤独感や罪悪感から解放される方も多くいらっしゃいます。気持ちを言葉にしたり、ご自身の問題について冷静に見直したりするなど、自分らしさを取り戻し、再発防止の手掛かりを得るきっかけとしていただけます。

② 模擬授業

ロールプレイ形式で授業を行います。研究授業ではなく、教師役を2回、他の回は生徒役として模擬的に授業を実施します。授業の準備をしたり、教師役・生徒役として授業に参加することで、どのような気持ちになるかを体験したり、体力的・精神的にどの程度疲れるかを確認することを目的としています。教師経験のある講師も招聘し、当プログラムの目的にそってアドバイスをいただいています。

③ 各種グループワーク

午後からはストレスコントロールに役立つグループワークを取り入れています。ワークを通して、メンバー間の親密性を高め、信頼関係を築くとともに、自己理解を深めたり、楽しむ感覚を取り戻したりしてもらうことを目的としています。プログラムは、親睦ゲームに始まり、芸術療法、健康運動指導士によるリラクゼーション・ストレッチ、講師を招いての陶芸、音楽などを予定しています。対人場面のロールプレイングも実施します。

実施場所

近畿中央病院内 リワークプレイス (伊丹市)

・学校で使用される椅子や机、教卓を使い、より現場の教室に近い雰囲気となっています。



対象となる方

- ・兵庫県・大阪府(大阪市除く)・神戸市・堺市・京都府(府立学校のみ)の公立学校の教員で、現在精神疾患にて休業中の方。
- ・ある程度病状が回復され、日常生活に支障がない方。
- ・主治医の先生からみて復職見通しのある方。

事前面接の結果、定員、病状の回復度合い、グループのメンバー構成などの理由で、お申し込みいただいても参加して頂けない場合があります。ご了承下さい。

手続き方法について

①	対象は兵庫県、大阪府(大阪市除く)、神戸市、堺市、京都府(府立学校のみ)の公立学校教員で、現在精神疾患にて休業中の方です。(上記 <u>対象となる方</u> の欄を参照下さい)
②	参加希望の方はまず、かかりつけの主治医の先生にご相談ください。 ある程度症状が軽快してこそ効果がありますので、主治医の承諾が必要となります。
③	参加申込書は所属の学校長のもとにあります。 この申込書は、主治医および学校長の同意を得て、教育委員会に提出することになりますので、まずはご本人から学校長に連絡をしてください。
④	当院にて、担当スタッフによる事前面談を行います。
⑤	④の結果、教育委員会から学校長を通じてご本人に連絡が届きます。

参加者の感想

- ・自分ひとりが悩んでいるのではないことがわかり、罪悪感から解放された。
- ・なぜ休業したのか、整理することができた。
- ・自分の問題を冷静に見つめられるようになった。
- ・また教師をやってみようと思った。
- ・授業の感覚を取り戻すきっかけになった。
- ・必要な時に、人に助けを求めたり、話を聞いてもらうことができるようになった。

お問い合わせ

公立学校共済組合 近畿中央病院 メンタルヘルスケアセンター
〒664-8533 兵庫県伊丹市車塚3丁目1番地
TEL: 072-781-3712(代)
職場復帰支援事業 担当 内線 244
FAX: 072-779-1567(代)

http://www.kich.itami.hyogo.jp/department/department9/index_2.htm